

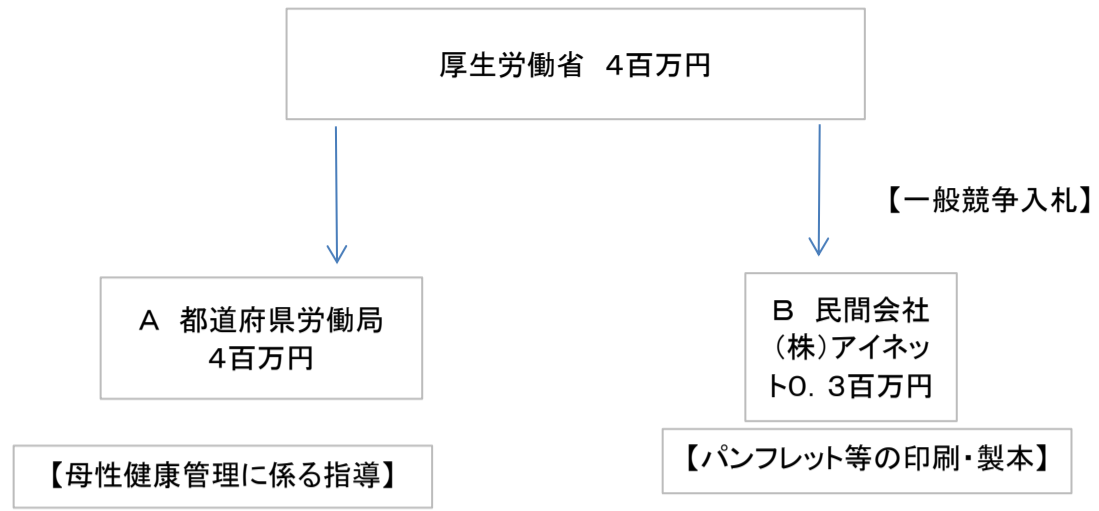
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	女性労働者健康管理等対策費	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度・未定	担当課室	職業家庭両立課	職業家庭両立課長 成田 裕紀			
会計区分	労働保険特別会計労災勘定	施策名	Ⅱ-2-2労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号	関係する計画、通知等	妊娠中及び出産後の女性労働者が保健指導又は健康診査に基づく指導事項を守ることができるようにするために事業主が講ずべき措置に関する指針(平成9年労働省告示第105号) 子ども・子育てビジョン(平成22年1月29日閣議決定) 健やか親子21(平成12年度策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性労働者の特性に見合った健康管理対策、特に母性の健康管理指導等を実施し、もって労働災害の予防等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	女性の職場進出が進み、妊娠中又は出産後も働き続ける女性が増加するとともに、男女雇用機会均等法に基づく事業主の義務である妊娠中及び出産後の健康管理に関する措置が、事業所内において適切に実施されることが重要になっている。このため、事業主への啓発、指導等を行うことにより、母性健康管理の措置に関する円滑な施行を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	20	19	21	16	15
		補正予算					
		繰越し等			△5	5	
		計	20	19	16	21	15
		執行額	6	11	4		
	執行率(%)	30.0%	57.9%	25.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	母性健康管理に関する相談数	成果実績	件	3,600	3,312	3,477	3,463
		達成度	%	104.0%	95.6%	100.4%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	パンフレット「女性労働者の母性健康管理のために」の作成・配布	活動実績 (当初見込み)	冊	—	33,200	31,250	— (31250)
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳 (千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	0	0	指導等にかかる経費の減			
	諸謝金	0	0				
	職員旅費	2	1				
	委員等旅費	0	0				
	庁費	14	13				
	計	16	14				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	母性健康管理の措置に資するための必要な経費であり、経費の執行については実行計画に基づき適正な執行を図っているところ。事業内容や実施方法について検討を行い、必要な見直しを図る。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	執行状況を予算要求に反映 (女性労働者健康管理等対策費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の要因等を精査し、予算を縮減すべき)		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
執行実績を踏まえた旅費等に係る経費の見直しによる縮減(反映額: ▲2百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	母性健康管理関係資料作成経費	3			
職員旅費	母性健康管理指導旅費	1			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.都道府県労働局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	都道府県労働局	母性健康管理に係る指導	4	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイネット	母性健康管理パンフレット等の印刷・製本	0.3	5	78.2
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					